

沖縄県立芸術大学造形芸術研究科比較芸術学専攻主催

特別講座(オンライン)

「刺繍少年」のこれまでとこれから

講師:青山悟(美術家)

司会:土屋誠一(美術批評家／沖縄県立芸術大学准教授)

開催概要:一貫して「刺繍」という手法を主軸として、視覚的イメージ全般、過去の実術史への参照、同時代の社会問題への言及など、常にアクチュアルな問題提起を、その美しい作品によって提起してきた青山悟。2024 年に、そのミッドキャリアを総括する回顧展「青山悟 刺繍少年フォーエバー」(目黒区美術館)を開催し、その多彩な取り組みが、再びクローズアップされたばかりです。青山の作家としての重要性は、つい先日発表された、芸術選奨新人賞の受賞のニュースにも、客観的に表れているものでもあります。今回は、美術家・青山悟が、どのような道を歩んできたか、そして、これからどこに向かおうとしているのか、アーティスト本人のお話から、聞くことのできるチャンスとなります。

日時:2025 年 3 月 25 日(火) 18:30～20:00

視聴方法:事前申込制(3 月 24 日まで。下記 URL から)

<https://x.gd/DGTaW>



視聴料:無料

連絡先:沖縄県立芸術大学 芸術学専攻学科室 tel:098-882-5070 e-mail:geijutsu@okigei.ac.jp

講師略歴

青山悟(あおやま・さとる):1973 年東京都生まれ。ロンドン・ゴールドスミスカレッジのテキスタイル学科を 1998 年に卒業、2001 年にシカゴ美術館附属美術大学で美術学修士号を取得し、現在は東京を拠点に活動。工業用ミシンを用い作品を制作している。近年の主な展覧会に「青山悟 刺繍少年フォーエバー」(目黒区美術館、2024 年)、「ワールド・クラスルーム:現代アートの国語・算数・理科・社会」(森美術館、2023 年)、「Everyday Art Market by Satoru Aoyama + ATM フェイス」(水戸芸術館、2022 年)など。作品集に『青山悟 刺繍少年フォーエバー』(青幻舎、2024 年)。近日開催予定の参加展覧会に「古往今来・発車オーライ!」(市原湖畔美術館、2025 年 4 月 26 日～)がある。<http://satoru-aoyama.com/>